



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月19日

鳥取県知事 平井伸治 様

提出者

住 所 鳥取県日野郡日南町丸山340-1

氏 名 生山礦業株式会

代表取締役 澤田 信介

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0859-82-0337

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

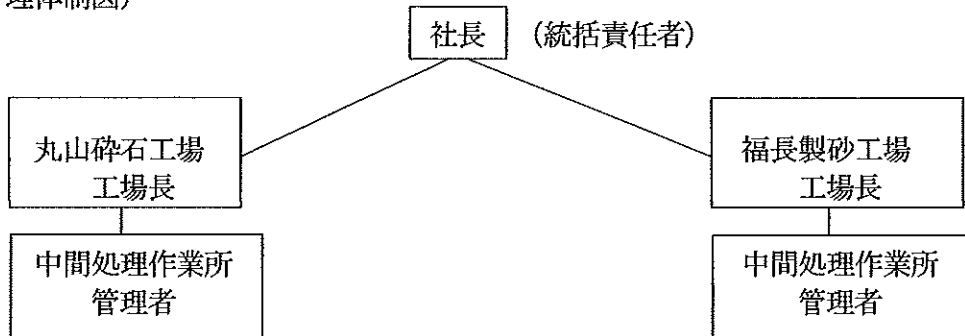
事業場の名称	生山礦業株式会社 福長製砂工場	
事業場の所在地	鳥取県日野郡日野町福長1367	
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	採石業	
②事業の規模	昨年度の製造品出荷額	71,000千円
③従業員数	12人	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 (別紙のとおり)	

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



統括責任者：廃棄物処理方針及び再利用計画の策定

管 理 者：中間処理オプラント施設の運転管理及び処理廃棄物の管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	3,000 t	t
	(これまでに実施した取組) 洗淨する砕石原石を出来るだけ泥が付着しないように原石置場の清掃、又降雨時の雨水処理を徹底する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	3,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 洗淨する砕石原石を出来るだけ泥が付着しないように原石置場の清掃、又降雨時の雨水処理を徹底する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別不可能
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別不可能

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,300 t	t
	(これまでに実施した取組) 岩石採取場の表土部分が減少する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,300 t	t
	(今後実施する予定の取組) 岩石採取場の表土部分が減少する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,700 t	t
(これまでに実施した取組) 脱水時間を長くする。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,700 t	t
(今後実施する予定の取組) 脱水時間を長くする。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 状	【前年度（ 25年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 状	【前年度（ 25年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	0 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙) ④産業廃棄物の一連の処理工程

1. 廃棄物の処理に関する事項

(1) 基本的事項

- ①産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守するとともに行政の環境施策に協力する。
- ②発生した産業廃棄物は、自社で中間処理し、100%再利用する。

(2) 廃棄物処理の現状

- ①当工場から発生する産業廃棄物は汚泥だけであるので、加圧式脱水機により清水と廃土に中間処理し、清水は循環水として工場内で再利用し、廃土はコーン指数4以上を確保し、自社所有のリゾート公園の造成盛土材として再利用している。
- ②当工場の汚水処理プラントの能力は別紙のとおり。
- ③産業廃棄物の種類別発生・処理状況

廃棄物の種類	発生源	性状	発生量	処理方法 (現状の工程)
無機性汚泥	碎石の洗浄	泥状 含水率 70%	3,000 t	無機性汚泥を脱水 (自己処理) 脱水汚泥を盛土に再利用 1,300 t/年

(3) 目標の設定

汚泥を加圧脱水することにより含水率を25%以下にし、更に真砂土20%を混合することにより良質な盛土材料とし自社所有のリゾート公園の遊園地造成に再利用することを目標にしているので、コーン指数を特に注意するよう努力する。

(4) 産業廃棄物処理施設の設置状況等

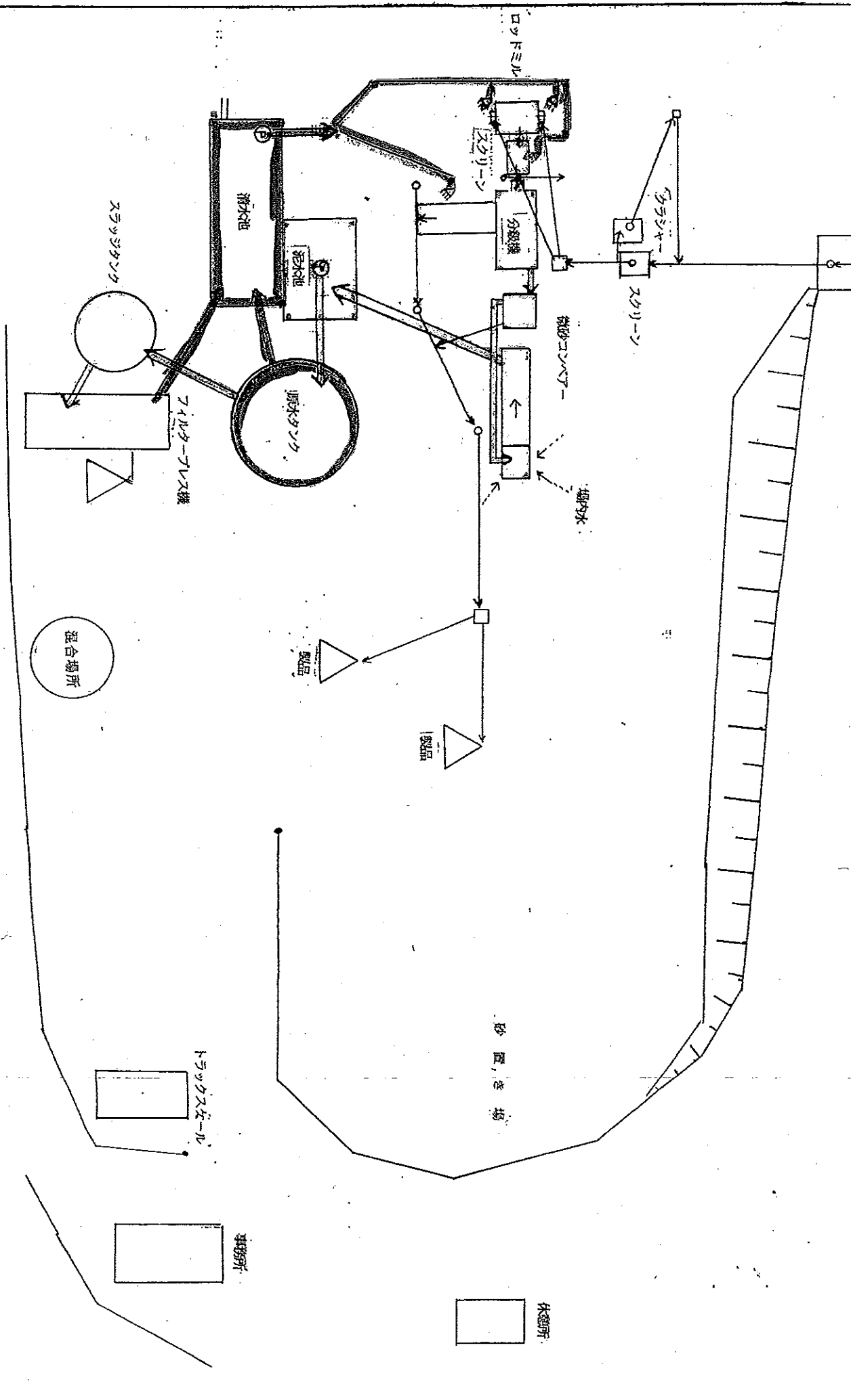
当工場の加圧式脱水機は1プレス4.0m³あり、現在の汚泥発生量に対して余裕があるので脱水時間を3時間設定にして処理廃土の含水率を下げ半固形状態にする。

(5) 廃棄物の処理に係る情報の収集・管理

公共機関民間を問わず、廃棄物に関する講習があれば積極的に受講している。又、必要な産業廃棄物に関する資格も従業員は取得する。

製砂ライン平面図

1/300



休憩所

砂置き場

製品

製品

混合場所

休憩所

トラックステール

ローレル

スクリーン

機械コンベヤー

場内水

スクリーン

クラシヤー

溜水池

泥水池

源水タンク

フィルタープレス機

スラッジタンク

1. 仕様及び主要寸法 <全自動機型複式加圧脱水機>

本体図

	SFP-2	SFP-3	SFP-4	SFP-5	SFP-8	SFP-10	SFP-14	
長さ A	6,540	7,400	8,340	9,200	11,800	13,600	14,340	
巾 B	1,800							2,500
高さ C	1,670							2,400
主要寸法 D	1,610							1,970
E	1,784	2,648	3,584	4,448	7,040	8,840	7,862	
F	1,560							1,950
G	1,450							1,650
H	4,084	4,948	5,884	6,748	9,340	11,140	11,040	
重量 (ton)	約12	約15	約18	約21	約30	約36	約65	
浮枠寸法 (mm)	1,200							1,500
浮室数	25	37	51	63	99	123	111	
浮布面積 (m ²)	50.9	70.4	101.8	126.3	203.6	252.6	351.4	
浮液容積 (m ³)	1.0	1.5	2.0	2.5	4.0	5.2	7.0	
浮遊圧力 (kg/cm ²)	5~10							
使用モーター	油圧ポンプ 5.5							11
開板用	0.4	0.4	0.4×2				0.75×2	
浮液受用	0.4×1							0.4×2
浮布寸法 (mm)	1.225×2790							1530×3350
浮板 (鉄製)	16% (SS41)							19%
ゴムシール (顔料・特殊ゴム)	3550エンプリス							4550 エンプリス
油圧シリンダー	250φ×1,500							250φ×1700 350φ×2000
電気制御	リレー式シーケンス回路							

※上記説明は後述「機械各部の名称及び品番」の項参照「なお改良の為、変更する場合があります。」

